

## 乳用育成牛の種付けを開始

昨年4月に府内の酪農家から導入した乳用育成牛は、今月までの一日当たり増体量が0.86kgと順調に発育し、2月28日から種付けを開始しました。

種付けは、和牛の増頭や酪農家の所得向上と難産を防止するために、和牛の受精卵移植を中心に進め、10月の譲渡に向けて全頭受胎を目標に取り組みます。



和牛受精卵移植の様子（左下）と種付け時期になっている乳用育成牛（右上）